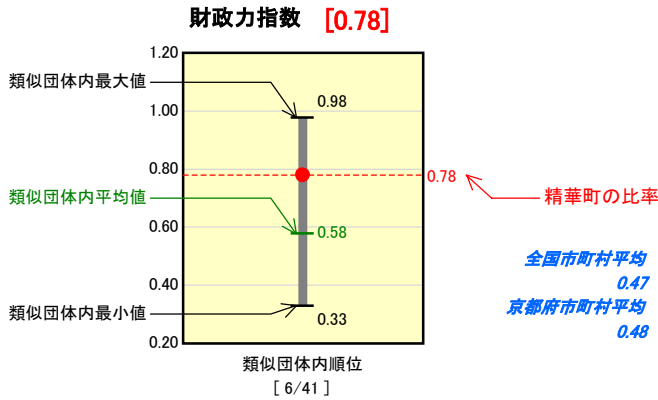


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

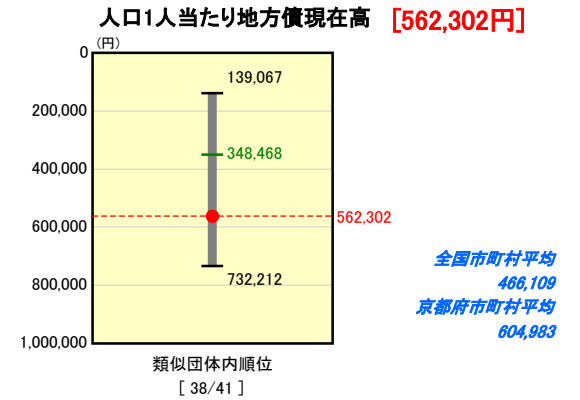
京都府 精華町

人口	34,338人(H17.3.31現在)
面積	25.66 km ²
歳入総額	13,887,520千円
歳出総額	13,548,115千円
実質収支	167,589千円

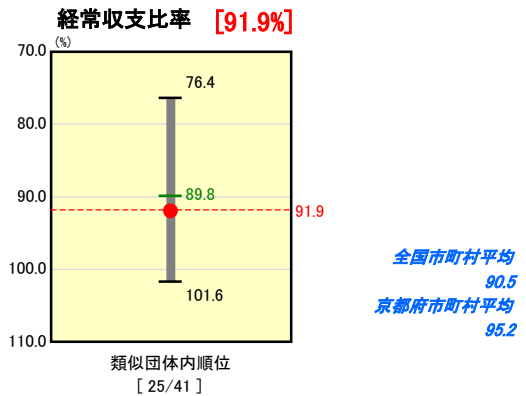
財政力



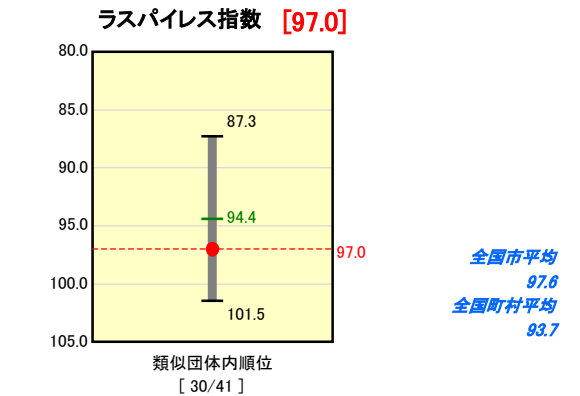
将来負担の健全度



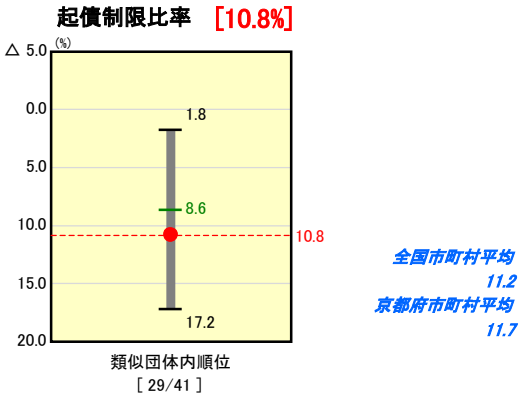
財政構造の弾力性



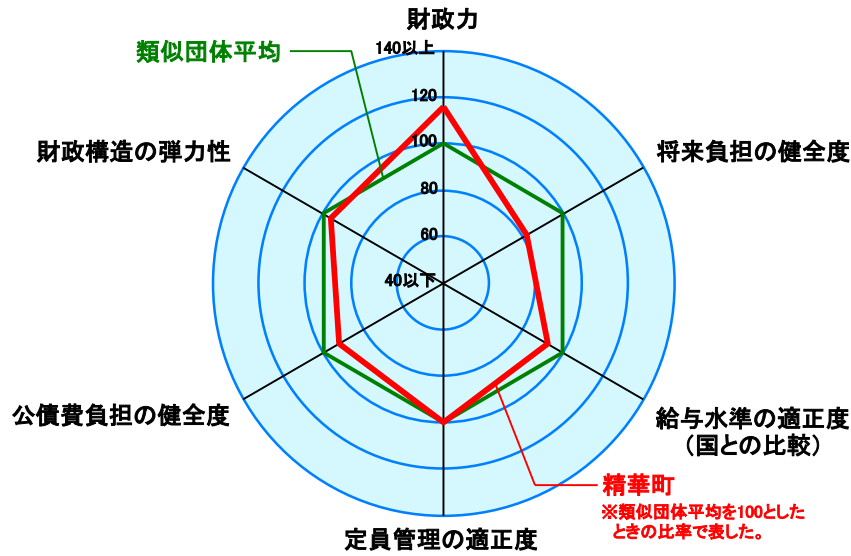
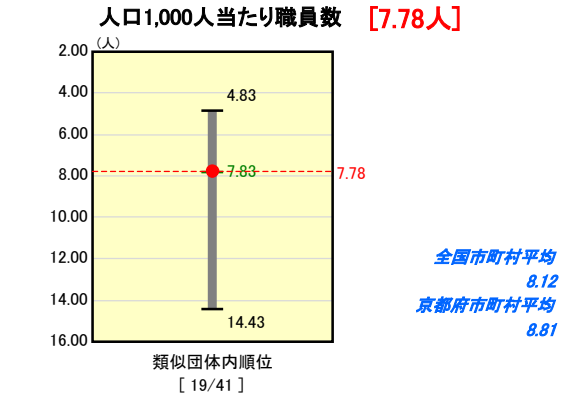
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
全国でも町村トップの人口増加率が示すとおり、町人口が年々増加していることから、財政力指数は類似団体平均を上回っている。今後、自主的な財政運営を進めるため、自主財源のさらなる確保に努める。

【経常収支比率】
歳入減により予算規模が縮小する中、社会保障関連経費等、経常経費の占める割合が高まりつつあり、指数悪化傾向が顕著に現れている。平成17年度から実施している行財政改革プログラムにしたがって、人件費の削減や事務事業の見直しなど財政構造のスリム化に取り組むと共に、税収などの収入増に努める。

【起債制限比率】
かねてより、償還の際に地方交付税措置のある地方債を起こしてきたが、近年、指数の悪化が顕著となりつつある。

【人口1人あたり地方債現在高】
人口増を見込み、学研都市建設にあわせ積極的な町内基盤整備を進めた結果、多額の債務残高を抱えるに至った。さらに、債務負担行為の支出予定額を加えると、実質的な債務残高はさらに多額に及んでいる。今後、新規の地方債発行を償還元金の範囲内に抑えることで、地方債残高の削減に努める。

【ラスパイレス指数】
現時点で類似団体平均水準を上回っているが、ここ3年で指数は減少しており、引き続き行財政改革を進めさらなる給与水準の適正化に努める。

【人口1,000人あたり職員数】
町単独で消防本部を抱えるなど、同規模の類似団体と比較して、人口あたりの職員数は多い。人件費削減は行財政改革の取り組みの主要な柱であり、退職者補充の適正運用などで、職員数の削減に努める。